

第122号

お茶の水女子大学学報

昭和63年5月1日

お茶の水女子大学庶務課

目次

卒業式・学位記授与式学長告示	1
入学式学長告示	3
関係法令	4
学内規則	5
お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を改正する規程	5
お茶の水女子大学学部規程の一部を改正する規程	5
お茶の水女子大学慶弔に関する基準	5
人 事	6
各種委員会委員	21
新任部局長紹介	30
学 事	30
卒業式及び学位記授与式について	30
入学式について	30
諸 報	30
昭和63年春の叙勲について	30
名誉教授の称号授与について	30
永年勤続者表彰について	31
停(定)年及び永年勤続退官者全学送別会について	31
海外渡航	31
健康診断	31
研 修	31
レクリエーション行事	31
新任者住所	32
職員の住所等変更	33
日 誌	33

卒業式・学位記授与式学長告示

本日ここに、本学名誉教授の先生方をはじめ来賓各位、卒業生の保護者の方々、そして本学の教職員諸氏の御臨席のもとに、第三十六回卒業式ならびに第二十

四回学位記授与式を挙行することができますこと、まことにありがたい極みであります。

只今、学部卒業者四二八名に対し卒業証書を、大学院修士課程修了者一一四名、同博士修了者一名に対し学位記をそれぞれ授与致しました。

卒業生の皆さん、晴れの卒業ほんとおめでとう。心配しておりました昨日の雨も上がり、今日は皆さんの卒業を祝福するかにすばらしい日になりました。また、今日の日まで皆さんをいつくしんでこられた御両親・保護者の方々の感慨もさぞかしと思ひます。ともどもに心からおよろこびを申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、今日の卒業式は、よく言われるように、皆さんにとって、これからの社会生活や職業生活、さらには研究生活への新しい出発式でもあります。つまり、これまで四年間ないし六年間、さらには九年間の本学における研究と教育を通して皆さんひとりひとりが自らの個性に応じて身につけられた成果を基礎として、それをこれからの新しい生活に活かし、さらに発展させて、充実した人生をきり拓いていくための出発式なのであります。

それでは、皆さんがこれまでに本学で先生方とともに、そして学友とともに身につけてこられた力とはなんのでしょうか。それがたんに専門的な知識や技術という目に見えるものだけでないことはいまでもないでしょう。それを私は、よく言われる教養ということばでとらえることができると思ひます。

皆さんは、大学を卒業した人ということで、これからの社会では、おそらく、教養のある人という目にとられ、評価されることでしょう。この場合、教養とは、人によって、いろいろにとらえられています。その中で「断片的な知識をみんな忘れてしまった後に残るもの、それが教養だ」とするとならえ方がいちばん適切であるように思われます。たんにシェークスピアを語り、ゲーテを論じるというようなことが教養でないことは確かです。それは、まさしく、おのずからにじみでるものといった方がよいのかも知れません。

そうした教養のとらえ方の中で、私がとりわけだいたいだと思いますのは、ある哲学者が主張していることですが、「人種のちがいや文化のちがいが、人々の意見や思想やイデオロギーのちがいに對して偏見をもたずに広い心でそれを理解し、尊重することができることこそ教養の中核をなすものだ」ということです。寛容の心といってもよいでしょう。

このことと直結しないかも知れませんが、私は文化人類学者としてよく知られている、故石田英一郎先生とずいぶん前に対談をしたことがあります。そのとき、私は教育という観点から、先生に、「教育を論じると最後には人間性ということになってしまうのですが、先生は人間性ということをどのようにとらえていらっしゃるんですか」と問うてみました。先生の答えはきわめて簡潔・明快でありました。

「人間の長い歴史の中で、戦争もあり、闘争もあり、対立もあるだろう。けれどもそうしたことを通してもなお、人間として、いや人類として、最後には共通し合える何物かがある、あるはずだと信じて、それをこの世に実現していこうと努力していく長い長い歴史のプロセスそのものが人間性にほかならないのではないか」このことは、いかにも鮮烈なとらえ方で、いまでもまざまざと耳に残っております。

これからの教育改革の方向の一つとして、国際化社会への対応とか、世界の中の日本人という視点から、国際理解の心を育てるべきことが強調されています。考えてみれば、このことの基礎は、まさに今考えてきた意味での寛容の心、開かれた心としての教養のだいたいさということにあるのではないのでしょうか。

ところで、教養のある人ということをごとくのようにとらえますと、このことは、ただちにそれを支える優しさ、優しい心ということに結びつきます。しかし、その意味は、一般に言われるように、もともと優という字は、人を憂うと書きますように、「やさしい」と読む字なのです。仲間への思いやり、人の心の痛みが分るということ、なにかしら人の役に立ちたいというボランティア精神、恵まれない人や社会の弱者をだいにする、そうしたやさしさという点ですぐれているということが優秀な人だということなのでしょう。

私は先程、皆さん方への卒業証書と学位記を読み上げながら、それをこれから皆さんがきびしく、激しく変動していく社会の中で、まっすぐに堂々と自分なりの生活をきり拓いていかれるうえでの基礎的な力としての知性と教養と、そしてそれを支える優しい心を体

得されたことの証明としてとらえておりました。

さて、皆さんが今日から新しく出発していかれる社会は、よく言われるように、高齢化や高度情報化、そして国際社会化といった、いかにも変化の激しい、まさに不確実性の社会であります。その中で、どんな変化に直面してもあくまでもひとりひとりが人間としてその変化に主体的に対決して、生き抜いていくことを要請されるきびしい社会であります。その中で自分なりの生き方、そして社会のあり方を選抜していくことが必要になります。これまで、われわれの社会が重きをおいてきたのは、どちらかといえば慈悲や博学の問題よりは自然の征服の問題、人間成長の問題よりは技術躍進の問題、平和の問題よりは戦争の問題、人間の心の豊かさの問題よりは経済的豊かさの問題でありました。これからのわが国の社会がいかなる道を選抜していくのか、それが教養と優しい心を身につけて卒業される皆さん方の選抜に委ねられているのであります。よく言われる生涯学習が現実になり、新しい知識と教養と生き方を求めて、たえず自己を高めていくことが必要となるのも、このためであります。

その際、もっと勉強したいし、誰かに教を乞いたい、友人や同学の士とともに討論して考えを深めたい、専門の図書や資料によって調べたい等々、学びの欲求の充足の機会と場が必要になるでしょう。そうした機会と場は、卒業後の社会に多様な形で整備されるかもしれません。しかし、皆さんにとって、その場として何よりもまず開かれているのは、皆さんの母校であるこのお茶の水女子大学であります。またそうありたいと思います。ここには、ともに真理の探求に励んできた先生方との深いつながりがあり、また文字どおり学友として学業生活をともにしてきた先輩、後輩とのつながりがあるからであります。

卒業生の皆さん。以上申し上げてきたような意味で、どうか本学の卒業生であるという自覚と誇りをもって、堂々たる充実した人生を歩んでいかれるよう念願致します。その際、ぜひお願いしたいことがあります。これからの皆さんのそれぞれの生活の中で、本学で皆さんが習得された成果をなんらかの形で、なんらかの場で社会に還元し、社会と他の人々に貢献し、役に立つ生き方をさせていただきたいことでもあります。このことが国立女子大学を卒業された皆さんにとっての大きな責務の一つであり、また社会はそうした皆さんを期待し、待っていると思うからであります。

ひとつ、付け加えさせていただきます。今日の卒業

生には十九名の修士課程を修了された留学生の方がおられます。いろいろときびしい困難なこともあったでしょう。よく頑張って下さいました。卒業をお祝いすると同時に、いま申したような意味で、それぞれのお国の生活や文化の発展に寄与するような生き方をして下さることを念願致します。

さいごに、重ねて卒業される皆さんと保護者の方への祝意を表し、これからの一層の御発展を祈念して、私の告辞と致します。

昭和六十三年三月二十三日

お茶の水女子大学長

河野重男

入学式学長告示

只今入学許可をした六七八名の新入生の皆さん、入学おめでとう。大きく変わった新しい入学試験のもとであっただけに、皆さんの努力と苦勞もさぞかしだったと思います。それだけに入学おめでとうということばにも、私にとっては、よく頑張りを抜いてくれたというひとしおの感慨があります。また、本日ここにお見えていただいている御両親・保護者の方々にとっても、その意味で今日の感慨はさぞかしと、心からおよろこび申し上げます。さて、皆さんにとって、この入学式は、あらためて、自分は何のために大学に入ったのかを問い直す場でもあります。いうまでもないことでしょうが皆さんは、大学へ入ることそのことを目的としてきたわけではないでしょう。大学へ入って何かをするために大学に入ってきたのです。その皆さんに、私なりの期待と願いを申し上げて一緒に考えてみたいと思います。

第一に、いうまでもなく大学とは学問をするところでもあります。そして、この学問をするということは、何がほんとうのことで、なにが見せかけの、うわべだけのことなのかを、自分の頭で考えて判断するということでもあります。正しい意味での批判の精神といってもよいでしょう。

この批判の精神が、これからの高度情報化社会といわれる中で、人間として主体的に生きていくうえでとりわけだいじなことだといえます。情報化社会は、コンピュータの発達などプラスの面ももちますが、テレ

ビや新聞雑誌などのマス・メディアを通して、さまざまな情報が氾濫し、人々はともすればその渦に巻き込まれて、にせの情報に振りまわされてしまうことにもなりかねない社会でもあります。その中で、なにがほんとうの情報でなにがいつわりの情報なのかをかき分け、選抜することのできる能力とセンスをもった、つまりあくまでも自分が情報の主人公になるということが、きわめてだいじなことになると思うのです。

こうした学問をする場としての大学は、皆さんひとりひとりにとって対話の場であるということでもあります。本を読むということは、その著者と対話することだとよく言われます。夏目漱石の読んだ本には、いろいろなアンダーラインや書き込みがあって、そこには作者に向って議論を吹きかけるようなこと、そんなべらぼうなことがあるものかとか、こんな素晴らしい表現はないとか言ったことが書いてあるということです。こうした本との対話を通して、正しい批判の精神が養われていくことになります。

皆さん、図書館等大学のあらゆる場を活用して貪欲に本と対話をしてください。

第二には、もちろん先生との対話であります。これからはじまる先生方の講義やゼミナールを通し、あるいは先生方の研究室を訪れての対話を通して、先生方が学問をして見出された結果としての知識や技術を覚えるだけでなく、それ以上に先生方が何を求めて、どんな方法で探求されていったかという学問の仕方を学び取るのです。

そして、第三に、友人という同学の士との対話であります。自分の頭で考えたことをお互いにお互いにつけて合せて、それをさらに高めることで新しい考え方に到達するというのが対話であります。そのことで自分も高まり、仲間も高まっていくのです。そうした対話が、授業の中でゼミナールの中で、またサークル活動や課外活動の中で展開されていく場が大学なのであります。

今日からの大学生活の中で皆さんに期待したいこととして、学問をすることとも結びつくことですが、「個性の華を開かせる」ということを挙げたいと思います。この場合の個性とは、自分なりの独自の持ち味をなにもかを通して、この道で努力していけば自己実現をし、自己発揮ができるという可能性について自信をもつということでもあります。つまり、自分が生涯をかけて打ち込めるもの、それを通して生きがいのある充実した生活を送れるものが何であるか、それを探求しつ

づけるということでありませう。それを探し求めて大学に入ったともいえませう。

皆さんは、これまでの高校教育の中で自分なりの個性と可能性が引き出され、伸ばされてきたかもしれませう。しかし、大学に入学した今日、まだまだ自分で引き出していない、伸ばされていない可能性としての個性を、皆さんひとりひとりがもっていると思います。それをこれからの大学生活の中でぜひ自分で探求して欲しいのです。

前にも述べたように、何がほんものの真理であり、情報であり、何がいつもの知識なのか、何がほんとうの善であり、何がみせかけの善であるのか、芸術の中で何がほんものの善であり何がうべだけの善であるのかを探求していく中で、個性の華を開かせるところ、それが大学であり、大学生活だと思ふのです。

こうした、学問の精神を深め、個性の華を開かせる場としての大学として、わがお茶の水女子大学は、国立の女子大学として、また小規模大学として、皆さんが努力すればどんなにも活かせる大学であると、自信をもって言えます。私も教職員の間でよく言っていることに、「小さな大学を大きく使おう」ということばがあります。先生方と学生との学問研究を通しての深いつながりがここにはあります。先輩とのつながりももてます。またゼミナール、課外活動を通じての同学の友としての深いつながりももてます。それらを通して、真理の探求と人生の探求が深められるということが小さな大学を大きく使おうということだと思ふのです。

けれども、それは、皆さんひとりひとりが、いかに大きく使うかにかかっております。「叩けよ、さらば開かれん」ということばがありますように、先生方の研究室や先輩の門は叩かなければ開かれませう。その意味で、今日からの生活の中で、先生方の扉を叩き、先輩の扉を叩き、同学の友と胸襟を開き合って語るといふ充実した学園生活を自ら積極的に作り出して欲しい。そのことによって本学が一層充実した研究教育の府になっていくように、お互いに努力していきたいと念願するものであります。

なお、今回二十四名の留学生の方がおられます。ようこそ、頑張ってお茶へ入学してくれました。何のために本学へ留学したのかという初心をいつも問い直して、日本の学生との対話の中でそれぞれの研究を深め、成果を修めて、それぞれ、お互いの生活や文化の発展に貢献されるよう念願します。

最後に皆さん、重ねて、入学ほんとおめでとう。

昭和六十三年四月九日

お茶の水女子大学長

河野重男

関係法令

【政 令】

- 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律の一部の施行期日を定める政令（政令第13号、2月19日官報）
- 勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令（政令第30号、3月1日官報）
- 日本育英会法施行令の一部を改正する政令（政令第53号、3月25日官報）
- 日本体育・学校健康センター法施行令の一部を改正する政令（政令第60号、3月29日官報）
- 行政機関職員定員令及び沖縄の復帰に伴う行政機関の職員の定員に関する法律の適用の特別措置に関する政令の一部を改正する政令（政令第94号、4月8日官報）

【府 令】

- 公害健康被害補償法施行規則等の一部を改正する総理府令（総理府令第5号、2月29日官報）

【府令・省令】

- 公害健康被害補償法施行規程等の一部を改正する命令（総理府・通商産業省令第2号、2月29日官報）

【省 令】

- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第5号、3月31日官報）
- 単位制高等学校教育規程（文部省令第6号、3月31日官報）
- 日本体育・学校健康センター法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第10号、3月31日官報）
- 支出官事務規程等の一部を改正する省令（大蔵省令第19号、4月1日官報）
- 国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令（文部省令第11号、4月1日官報）
- 文部省設置法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第12号、4月8日官報）

○文部省定員規則の一部を改正する省令（文部省令第13号、4月8日官報）

○国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令（文部省令第16号、4月8日官報）

○国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令の一部を改正する省令（文部省令第20号、4月12日官報）

【規則】

○人事院規則1-4（現行の法律、命令及び規則の廃止）の一部を改正する人事院規則（人事院規則1-4-5、2月19日官報）

○一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律（昭和62年法律第109号）の施行に伴う関係人事院規則の整理に関する人事院規則（人事院規則1-14、2月19日官報）

○人事院規則9-24（通勤手当）の一部を改正する人事院規則（人事院規則9-24-3、2月19日官報）

○人事院規則15-10（勤務を要しない時間の指定）の全部を改正する人事院規則（人事院規則15-10-2、2月19日官報）

○人事院規則15-12（非常勤職員の勤務時間及び休暇）の一部を改正する人事院規則（人事院規則15-12-2、3月15日官報）

○人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する人事院規則（人事院規則16-0-6、3月31日官報）

【告示】

○国立の義務教育諸学校等の児童生徒等についての災害共済給付に係る昭和63年度以後の共済掛金の額のうちその保護者等から徴収する額を定める等の件（文部省告示第39号、4月1日官報）

学 内 規 則

お茶の水女子大学規則第4号
お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和63年4月27日

お茶の水女子大学長 河野重男

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学受託研究員規程の一部を次のように改める。

別表中「科学技術庁「国立試験研究機関に従事する研究補助者のための国内留学制度」による研究員」の項の次に次のように加える。

農林水産省「協同農業普及事業の実施について（3農業改良普及員国内留学研修の実施）」による受託研究員	6ヵ月以内	150,000円
---	-------	----------

附 則

この規程は、昭和63年4月27日から施行し、昭和63年4月1日から適用する。

お茶の水女子大学規則第5号

お茶の水女子大学学部規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和63年4月27日

お茶の水女子大学長 河野重男

お茶の水女子大学学部規程の一部を改正する規程
お茶の水女子大学学部規程の一部を次のように改める。

文教育学部規程第1条中「第7講座 視聴覚教育」を「第7講座 認知心理学」に改める。

附 則

この規程は、昭和63年4月27日から施行し、昭和63年4月8日から適用する。

お茶の水女子大学慶弔に関する基準

（昭和63年3月1日）
（事務局長決裁）

（趣旨）

1 この基準は、お茶の水女子大学（以下「本学」という。）の職員、非常勤職員及び退職者並びに本学と密接な関係がある者（機関を含む。以下「関係者」という。）に対する本学の慶弔の表意について、必要な事項を定める。

（定義）

2 この基準において「部局」とは、事務局、学生部、文教育学部、理学部、家政学部、大学院人間文化研究科、附属図書館、女性文化研究センター、生活環境研究センター、保健管理センター及び附属学校部をいう。

(表意者等)

3 慶弔における表意者及び表意方法は、別表に掲げるところによるものとする。

(通知)

4 別表の慶弔及び弔事があった場合、職員及び非常勤職員の所属する部局(職員であった者は退職時の所属部局)又は関係者と関係ある部局は、速やかに必要事項を記した文書を庶務課庶務係に提出しなければならない。

(学内掲示の基準)

5 学内掲示は、弔事のみとし、その範囲は別表のとおりとする。

(祝辞及び弔電等の作成)

6 祝辞、祝電及び弔電については、第4項の部局がその原案を作成するものとする。

(事務)

7 慶弔に関する事務は、庶務課において行う。

(雑則)

8 第5項の規定は、特別の事情により、部局において弔事に関する掲示を必要と認め、かつ、当該部局の名において行うものを妨げるものではない。

附 則

この基準は、昭和63年3月1日から実施する。

別 表

慶 弔 事 項		表 意 者	表 意 方 法	備 考
慶 事	職員、退職者が国等から叙勲等を受賞、その他必要と認めるとき	学長 所属部局の長	祝電又は 祝辞	
	関係者等の慶事のうち、必要と認められるとき	大学又は学長		
弔 事	在 職 者	学長 所属部局の長	弔電 供花	
	非常勤講師 非常勤職員	所属部局の長	弔電	
	退 職 者 等	学長 所属部局の長	弔電 供花	
事	名譽教授	学長 所属部局の長	弔電	
	部局長として在任した者	学長 所属部局の長	弔電	
	課長補佐以上の職に在職した事務職員 本学に10年以上在職した者			
家 族	名譽教授の配偶者及び職員の配偶者、両親(実父母、養父母)	学長 所属部局の長	弔電	
そ の 他	関係者のうち、特に必要と認めるとき	大学又は学長	弔電	学内掲示は、必要に応じて行う

備考 1) 弔電は、学長と所属部局の長との連名とする。
2) 供花は、大学名とする。

人 事

○人事異動

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
63. 3. 1	作 田 正 明	助手(理学部)	採 用	
63. 3. 16	石 和 貞 男	教授(理学部)	昇 任	助教授(理学部)
63. 3. 18	小 林 裕 子	教諭(附属高等学校) 任期63. 4. 28まで	臨時的任用	
63. 3. 31	磯 崎 昭 男	昭和63年3月31日限り 定年退職	退 職	文教育学部事務長

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
63. 3. 31	福 本 健 弥	昭和63年3月31日限り定年退職	退 職	理学部事務長
"	高 田 保 男	"	"	学生課学生係長
"	畑 中 英 子	"	"	厚生課看護婦
"	植 田 幸 子	"	"	附属小学校教諭
"	近 衛 典 子	辞職承認	"	助手（文教育学部）
"	西 洋 子	"	"	"
"	堀 江 充 子	"	"	助手（理学部）
"	田 口 恒 夫	"	"	教授（家政学部）
"	関 口 伸 子	"	"	助手（家政学部）
"	松 本 美 鈴	"	"	家政学部教務職員
"	小 山 直 子	"	"	"
"	井 沼 敏 子	"	"	附属小学校教諭
"	本 田 敏 子	"	"	"
"	立 花 秀 子	"	"	附属高等学校教諭
"	田 辺 ま す み	"	"	" 養護教諭
"	松 藤 章 子	"	"	附属幼稚園教諭
63. 4. 1	千 葉 久 雄	文部事務官（庶務課）	採 用	
"	鈴 木 孝	"（会計課）	"	
"	鈴 木 晴 美	文部技官（厚生課）	"	
"	関 口 健 治	文部事務官（文教育学部）	"	
"	佐 藤 良 子	教授（文教育学部）	"	
"	相 原 茂	助教授（文教育学部）	"	
"	鈴 木 啓 子	助手（文教育学部）	"	
"	福 井 明 子	文教育学部教務職員	"	
"	桂 利 行	助教授（理学部）	"	
"	大 塚 恵	講師（家政学部）	"	
"	村 田 容 常	"	"	
"	四 宮 陽 子	助手（家政学部）	"	
"	杉 井 史 子	家政学部教務教員	"	
"	山 本 菜 美	"	"	
"	矢 野 素 子	"	"	
"	三 好 み ゆ き	助手（大学院人間文化研究科）	"	
"	菅 井 晴 美	"	"	
"	森 山 悦 子	"	"	
"	田 端 輝 彦	附属小学校教諭	"	
"	延 堂 幸 規	附属中学校教諭	"	

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	異動前の所属・官職
63. 4. 1	中津川義浩	附属高等学校教諭	採用	
"	木津かやの	" 養護教諭	"	
"	伊集院理子	附属幼稚園教諭	"	
"	久米康之	高知大学学生部次長	昇任	学生課長
"	岩崎哲昌	庶務課課長補佐	"	庶務課大学院係長
"	高橋傳	会計課課長補佐	"	附属学校部総務係長
"	田沼行文	施設課企画係長	"	会計課用度係用度主任
"	上島正彦	学生課学生係長	"	庶務課人事係給与主任
"	峯村薫	附属図書館総務係長	"	会計課総務係総務主任
"	白藤禮幸	教授(文教育学部)	"	助教授(文教育学部)
"	内藤博夫	"	"	"
"	岩崎千鶴	講師(文教育学部)	"	助手(大学院人間文化研究科)
"	石口彰	"	"	助手(東京大学文学部)
"	杉山進	"	"	助手(東京大学教養学部)
"	平川澄子	助手(文教育学部)	"	文教育学部教務職員
"	大橋裕二	教授(理学部)	"	助教授(理学部)
"	鈴木恵美子	助手(家政学部)	"	家政学部教務職員
"	鳥養映子	助教授(山梨大学工学部)	"	助手(大学院人間文化研究科)
"	竹内實	学生課長	配置換	熊本大学学生課長
"	豊田広一	文教育学部事務長	"	家政学部事務長
"	細井隆一	理学部事務長	配置換	庶務課課長補佐
"	高田滋郎	家政学部事務長	"	会計課課長補佐
"	宮腰泰憲	庶務課大学院係長	"	附属図書館総務係長
"	海老原葵	家政学部学務係長	"	施設課企画係長
"	筑井克己	附属学校部総務係長	"	家政学部学務係長
"	平松周二	会計課総務係総務主任	"	附属図書館総務係総務主任
"	清水孝一	庶務課	"	附属学校部
"	西原敏雄	会計課	"	文教育学部
"	吉井稔	"	"	"
"	藤野義広	文教育学部	"	庶務課
"	佐々木信一	附属学校部	"	会計課
"	米村昭二	教授(文教育学部)	"	教授(北海道大学文学部)
"	窪添慶文	"	"	教授(高知大学教育学部)
"	桜井明	文部技官(施設課)	転任	成田空港検疫所検疫課
"	田宮兵衛	助教授(文教育学部)	"	気象庁総務部企画課 気候変動対策室調査官

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	異動前の所属・官職
63. 4. 1	牧野カツコ	助教授(家政学部)	転任	助教授(横浜国立大学教育学部)
"	仲西正	助手(家政学部)	"	助手(東京工業大学工学部)
"	河合泰和	名古屋大学経理部経理課	"	会計課
"	蔵野由美子	東京大学附属図書館整理課	"	附属図書館
"	石田勉	東京学芸大学教育学部 附属大泉中学校教諭	"	附属中学校教諭
"	清水碩	理学部長 評議員 併任期間65. 3. 31まで	併任	(理学部教授)
"	太田次郎	大学院人間文化研究科長 評議員 併任期間66. 3. 31まで	"	(理学部教授)
"	堤精二	女性文化研究センター長 併任期間65. 3. 31まで	"	(文教育学部教授)
"	耳塚寛明	講師(文教育学部) 併任期間64. 3. 31まで	"	国立教育研究所
"	坂本満	国立歴史民俗博物館 教授情報資料研究部	"	(文教育学部教授)
"	宮腰泰憲	(命)大学院人間文化研究科 事務室長	勤務命令	
"	岩崎哲昌	(免)大学院人間文化研究科 事務室長	"	
"	筑井克己	(命)附属学校部事務室長	"	
"	高橋傳	(免)附属学校部事務室長	"	
"	佐伯有一	昭和63年3月31日限り 停年退職	退職	教授(文教育学部)
"	犬養廉	"	"	"
"	中山時子	"	"	"
"	興水はる海	"	"	"
"	松川哲哉	"	"	教授(家政学部)
"	石川欣造	"	"	"
"	大江紀久子	昭和63年3月31日限り 任期満了	"	附属高等学校教諭

○外国人教師

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	本務
63. 4. 1	ルイス・ジョン ・クラフォード	契約更新 期間63. 4. 1~64. 3. 31	契約	
"	タキノ・シャル ・シヤンタル	"	"	
"	鹿珠世	"	"	

○非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
63. 3. 30	小林一二三	昭和63年3月30日限り任期満了退職		
"	竹部正二	"		
"	中守せい	"		

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
63. 3. 30	百 清 子	昭和63年3月30日限り任期満了退職		
"	幸 野 保 典	"		
"	石 野 康 子	"		
"	菊 池 久 江	"		
"	浅 見 キ ヨ ノ	"		
63. 4. 1	横 山 典 子	事務補佐員(庶務課)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	斉 藤 智 子	事務補佐員(会計課)	"	
"	三 沢 志 津 江	"	"	
"	小 林 一 二 三	臨時用務員(会計課)	63. 4. 1~63. 3. 30	志賀高原体育運動場
"	江 月 洋 子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	館山野外教育施設
"	竹 部 正 二	技能補佐員(施設課)	63. 4. 1~63. 3. 30	
"	鎌 田 昭 子	事務補佐員(施設課)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	横 山 真 弓	事務補佐員(学生課)	"	
"	田 中 和 子	"	"	
"	矢 吹 ト ク	臨時用務員(学生課)	63. 4. 1~63. 11. 15	
"	河 原 木 ま り 子	事務補佐員(学生課)	63. 4. 1~63. 5. 31	
"	宮 澤 春 美	事務補佐員(厚生課)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	中 守 せ い	臨時用務員(厚生課)	63. 4. 1~64. 3. 30	
"	飯 草 泰 子	事務補佐員(入学主幹付)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	岡 川 京 子	"	"	
"	百 清 子	臨時用務員(入学主幹付)	63. 4. 1~64. 3. 30	
"	須 田 玲 子	事務補佐員(入学主幹付)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	幸 野 保 典	事務補佐員(附属図書館)	63. 4. 1~64. 3. 30	
"	宮 川 淑 美	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	島 内 真 美 子	"	63. 4. 1~63. 12. 31	
"	吉 沢 優 子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	大 沢 三 奈 子	"	"	
"	松 井 美 由 紀	"	63. 4. 1~63. 6. 30	
"	北 村 千 秋	事務補佐員(附属高等学校)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	熊 谷 と も 子	事務補佐員(附属高等学校)	"	
"	北 村 キ ソ	臨時用務員(附属小学校)	"	
"	前 田 良 子	臨時用務員(附属小学校)	"	
"	三 森 フ ミ エ	臨時用務員(附属幼稚園)	"	
"	西 川 紀 子	事務補佐員(文教育学部)	"	
"	田 中 眞 理 子	"	"	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
63. 4. 1	小林 ミチ	臨時用務員 (文教育学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	石野 康子	事務補佐員 (理学部)	"	
"	木村 しづ子	臨時用務員 (理学部)	"	
"	菊池 久江	"	63. 4. 1~64. 3. 30	
"	高原 美枝子	事務補佐員 (家政学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	浅見 キヨノ	臨時用務員 (家政学部)	63. 4. 1~64. 3. 30	
"	小沢 千穂子	事務補佐員 (家政学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	並木 裕美	"	"	
"	小池 寿子	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	本間 直子	"	"	
"	西野 真由美	"	"	
"	杉本 春美	"	"	
"	泉 慶子	事務補佐員 (文教育学部)	"	
"	渡辺 真紀子	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	葉 倩瑋	"	"	
"	青木 久美子	事務補佐員 (文教育学部)	"	
"	小林 雪路	"	"	
"	川島 史子	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	近衛 典子	"	"	
"	菅原 博子	"	"	
"	越智 博美	"	"	
"	四元 直子	事務補佐員 (文教育学部)	"	
"	庄司 宏子	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	松井 優子	事務補佐員 (文教育学部)	"	
"	城 恵美子	"	"	
"	堀江 朝恵	教務補佐員 (文教育学部)	"	
"	森田 香	"	"	
"	金子 敦子	"	"	
"	小池 すみれ	"	"	
"	中野 マリ	"	"	
"	近藤 美樹子	"	"	
"	川上 薫	"	"	
"	結城 美穂子	"	"	
"	下迫 真理	"	"	
"	濱野 光代	事務補佐員 (文教育学部)	"	
"	小畑 美佐子	"	63. 4. 1~64. 7. 31	

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
63. 4. 1	上村みどり	教務補佐員(理学部)	63. 4. 1~64. 9. 30	
"	山須三津枝	事務補佐員(理学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	中村洋子	教務補佐員(理学部)	"	
"	渡邊静子	事務補佐員(理学部)	"	
"	山崎千恵子	教務補佐員(家政学部)	"	
"	大石容子	"	"	
"	武部日美子	"	"	
"	山崎聡子	"	"	
"	森下みさ子	"	"	
"	小林理恵子	"	"	
"	ノーリタ・サンセダ	"	63. 4. 1~63. 10. 31	
"	朝倉富子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	長尾慶子	"	"	
"	脇田美佳	"	"	
"	瀬尾弘子	"	"	
"	浜田陽子	"	"	
"	内山良重	事務補佐員(家政学部)	"	
"	石坂美樹	教務補佐員(家政学部)	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	塩原みゆき	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	高瀬鷹理子	事務補佐員(家政学部)	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	谷口晶子	教務補佐員(家政学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	前田尚子	"	"	
"	犬塚都子	"	"	
"	柳瀬サエ子	"	"	
"	大塚洋子	"	"	
"	岡島史佳	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	田窪純子	教務補佐員(家政学部)	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	猪口由紀子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	藤山葉子	教務補佐員(生活環境研究センター)	"	
"	佐久間千栄子	事務補佐員(大学院人間文化研究科)	"	
"	飯窪とみ江	臨時用務員(大学院人間文化研究科)	"	
"	橋口砂子	教務補佐員(女性文化研究センター)	"	
"	山本優子	"	"	
"	野村明代	"	"	
63. 4. 16	市川圭子	教務補佐員(理学部)	63. 4. 16~64. 3. 31	
"	金美郷	教務補佐員(家政学部)	"	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
63. 4. 16	肥後淳子	教務補佐員(女性文化研究センター)	63. 4. 16~64. 3. 31	
63. 4. 30	須田玲子	辞職承認		入学主幹付
63. 5. 1	岡芹愛子	教務補佐員(家政学部)	63. 5. 1~64. 3. 31	

○非常勤講師

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63. 3. 1	會川義寛	講師(家政学部)	63. 3. 1~63. 3. 31	
"	江幡玲子	"	"	日本女子体育短期大学助教授
63. 4. 1	坂部恵	講師(文教育学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	東京大学教授
"	吉田夏彦	"	"	東京工業大学教授
"	川崎信定	"	"	筑波大学教授
"	林田新二	"	"	電気通信大学教授
"	似田貝香門	"	"	東京学芸大学助教授
"	小林宏光	"	"	実践女子大学講師
"	森洋子	"	"	明治大学助教授
"	高野真佐子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	柴野均	"	63. 4. 1~64. 3. 31	東京大学助手
"	義江明子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	吉見映子	"	"	
"	山崎元一	"	63. 4. 1~64. 3. 31	国学院大学教授
"	坂野良吉	"	"	埼玉大学教授
"	堀越孝一	"	"	学習院大学教授
"	三鬼清一郎	"	63. 4. 1~63. 9. 30	名古屋大学教授
"	保立道久	"	"	東京大学助教授
"	竹内啓一	"	"	一橋大学教授
"	五條英司	"	"	日本大学教授
"	菅野峰明	"	"	埼玉大学教授
"	向後紀代美	"	"	
"	武内和彦	"	"	東京大学助教授
"	和田明子	"	"	都留文科大学教授
"	青木伶子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	成蹊大学教授
"	橋本達雄	"	"	専修大学教授
"	西野春雄	"	"	法政大学教授
"	益田宗	"	"	東京大学教授
"	中野幸一	"	"	早稲田大学教授
"	国松昭	"	"	東京外国語大学教授

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63. 4. 1	近藤龍哉	講師(文教育学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	埼玉大学助教授
"	平山久雄	"	"	東京大学教授
"	小島久代	"	"	明海大学助教授
"	丸山昇	"	"	東京大学教授
"	工藤昭雄	"	"	学習院大学教授
"	上島健吉	"	"	東京大学教授
"	西尾巖	"	"	早稲田大学教授
"	千葉修司	"	"	津田塾大学教授
"	馬場彰	"	"	東京外国語大学助教授
"	岩倉嘉代子	"	"	
"	石井晴一	"	"	青山学院大学教授
"	小野正敦	"	"	東京外国語大学助教授
"	木下光一	"	"	独協大学教授
"	後藤辰男	"	"	東洋大学教授
"	金子忠史	"	63. 4. 1~63. 9. 30	国立教育研究所研究室長
"	今野喜清	"	63. 4. 1~64. 3. 31	青山学院大学教授
"	藤田英典	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京大学助教授
"	渡部洋	"	63. 4. 1~64. 3. 31	東京大学助教授
"	三浦香苗	"	"	千葉大学教授
"	本儀みどり	"	"	
"	柏木恵子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京女子大学教授
"	柳沼輝子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	武蔵野音楽大学講師
"	大道等	"	63. 4. 1~63. 9. 30	国際武道大学助教授
"	細江文利	"	63. 4. 1~64. 3. 31	東京学芸大学助教授
"	相場宏	"	63. 4. 1~63. 9. 30	日本女子体育大学教授
"	高橋伍郎	"	"	筑波大学教授
"	市川雅章	"	"	
"	西原和	"	"	
"	野村太良	"	"	
"	芦川紀子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	佐野圭子	"	"	
"	八田清隆	"	"	
"	井上百合子	"	"	
"	岡部玲子	"	"	
"	佐々木弥栄子	"	"	
"	長谷川敏	"	"	筑波大学助教授

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63. 4. 1	平尾力哉	講師(文教教育学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	小池松寿	"	"	武蔵野音楽大学助教授
"	渡辺三郎	"	"	東邦音楽大学助教授
"	高久淑子	"	"	
"	山内忠	"	"	宮城学院女子大学教授
"	中野俊也	"	"	東京芸術大学助手
"	三上カタリーナ ・マルガレーテ	"	"	
"	渡部恵一郎	"	"	桐朋学園大学教授
"	田村進	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京音楽大学教授
"	酒井令子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	逸身喜一郎	"	"	成城大学助教授
"	橋本寿朗	"	"	法政大学教授
"	桜井毅	"	63. 4. 1~63. 9. 30	武蔵大学教授
"	広渡清吾	"	63. 4. 1~64. 3. 31	東京大学助教授
"	澤井芳江	"	"	
"	菊池康人	"	"	東京大学助教授
"	松平信久	"	63. 4. 1~63. 9. 30	立教大学教授
"	山本礼子	"	"	和洋女子大学教授
"	清水康幸	"	"	野間教育研究所所員
"	竹内敏晴	"	"	
"	桑原敏明	"	"	筑波大学教授
"	笹川孝一	"	"	筑波大学講師
"	本郷さよ子	"	"	学習院女子中・高等科教諭
"	勝浦範子	"	"	
"	長沢靖夫	"	"	東京学芸大学教授
"	橘静香	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	金井新二	"	"	東京大学助教授
"	中西又三	"	"	中央大学教授
"	服藤早苗	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	川崎逸郎	"	"	千葉大学教授
"	江波戸昭	"	"	明治大学教授
"	石井巖	"	63. 4. 1~64. 3. 31	立教大学教授
"	本郷逕子	"	"	
"	佐藤喬	"	"	慶応大学教授
"	山口俊治	"	"	日本医科大学教授
"	渡辺勝馬	"	"	東京女子大学教授

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63. 4. 1	篠塚久美子	講師(文教育学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	日本体育大学助教授
"	吉岡真弓	"	"	
"	今井佐智子	"	"	共立女子短期大学助教授
"	俵田春江	"	"	
"	井上美沙子	"	"	
"	高原信子	"	"	
"	上野修	"	"	東京学芸大学教授
"	川口洋	"	"	学習院大学教授
"	菅野健	"	"	筑波大学助教授
"	千艘光幸	"	"	横浜国立大学教授
"	中田美喜	"	"	慶応大学教授
"	長谷川洋	"	"	横浜市立大学教授
"	宮原朗	"	"	埼玉大学教授
"	渡辺勝	"	"	埼玉大学教授
"	平野郷子	"	"	
"	光野正幸	"	"	武蔵大学助教授
"	志賀邦瑞	"	"	
"	内田雄一	"	"	創価大学助教授
"	金子美都子	"	"	聖心女子大学助教授
"	中條忍	"	"	青山学院大学教授
"	中沢達夫	"	"	慶応大学教授
"	中島昭和	"	"	中央大学教授
"	西村靖敬	"	"	千葉大学助教授
"	山本富啓	"	"	
"	前木祥子	"	"	
"	平松圭子	"	"	大東文化大学教授
"	ジーン・A・クレイン	"	"	
"	ライヤ・奥田	"	"	
"	ジークリト・酒井	"	"	
"	シャンタル・西村	"	"	
"	武井正子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	順天堂大学助教授
"	三須徳次	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	酒井綾子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	附属中学校教諭
"	高橋通泰	"	"	附属高等学校教諭
"	園城寺信一	"	63. 4. 1~64. 3. 31	附属高等学校教諭
"	小田川恭子	"	"	附属高等学校教諭

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63. 4. 1	久保昌	講師(文教育学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	附属高等学校教諭
"	古畑三郎	"	63. 4. 1~63. 9. 30	附属小学校教諭
"	萩原栄	"	"	附属小学校教頭
"	田中美也子	"	"	附属中学校教諭
"	早崎捷治	"	"	附属高等学校教諭
"	中村得之	講師(理学部)	"	東京大学教授
"	宝来正子	"	"	東京工業大学助教授
"	高木亮一	"	"	千葉大学教授
"	宮島静雄	"	63. 4. 1~64. 3. 31	東京理科大学助教授
"	有山正孝	"	63. 4. 1~63. 9. 30	電気通信大学教授
"	高見穎郎	"	63. 4. 1~64. 3. 31	東京大学教授
"	小川建吾	"	63. 4. 1~63. 9. 30	関東学院大学助教授
"	八木江里	"	"	東洋大学教授
"	浅井吉蔵	"	"	理化学研究所研究員
"	藤代一成	"	"	筑波大学助教授
"	中原勝儼	"	"	立教大学教授
"	小林常利	"	63. 4. 1~64. 3. 31	理化学研究所研究員
"	竹内敬人	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京大学教授
"	藤嶋昭	"	"	東京大学教授
"	曾我和雄	"	"	東京工業大学教授
"	外村晶	"	"	東京医科歯科大学教授
"	笠毛邦弘	"	"	農業生物資源研究所主任研究官
"	水野丈夫	"	"	
"	寶谷紘一	"	"	京都大学助教授
"	本田欣哉	"	63. 4. 1~64. 3. 31	立教大学教授
"	久保内信子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	小島郁生	"	"	国立科学博物館地学研究部長
"	寿岳潤	"	"	
"	西沢清子	"	"	上智大学助手
"	草間時武	"	63. 4. 1~64. 3. 31	早稲田大学教授
"	竹沢照	"	63. 4. 1~63. 9. 30	日本大学教授
"	前川恒夫	"	"	東京大学助教授
"	山崎篤麿	"	"	東京大学助手
"	橋本吉彦	"	"	横浜国立大学助教授
"	大路道雄	"	"	電気通信大学教授
"	相馬研吾	"	"	東京水産大学教授

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	本 務
63. 4. 1	中 田 雅 子	講師 (家政学部)	63. 4. 1~64. 3. 31	心身障害児総合医療 療育センター言語医療係長
"	武 藤 安 子	"	"	心身障害児総合医療 療育センター通園科長
"	津 守 真	"	"	愛育養護学校校長
"	鈴 木 宏 子	"	"	
"	川 田 昇	"	"	神奈川大学教授
"	繁 樹 算 男	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京工業大学助教授
"	小 嶋 秀 夫	"	"	名古屋大学教授
"	開 原 久 代	"	"	東京児童相談センター医師
"	粕 谷 友 介	"	63. 4. 1~64. 3. 31	上智大学教授
"	村 山 英 子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	附属幼稚園教諭
"	村 石 京	"	"	附属幼稚園教頭
"	飯 淵 貞 明	"	"	和洋女子大学教授
"	下 村 道 子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	大妻女子大学教授
"	松 本 エ ミ 子	"	"	共立女子大学教授
"	東 畑 朝 子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	浜 島 教 子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	聖徳栄養短期大学教授
"	平 野 美 那 世	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	橋 詰 直 孝	"	63. 4. 1~64. 3. 31	帝京大学助教授
"	山 崎 眞 狩	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京大学教授
"	石 川 松 太 郎	"	"	日本女子大学教授
"	古 松 弥 生	"	63. 4. 1~64. 3. 31	十文字学園女子短期大学教授
"	保 志 宏	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京大学講師
"	杉 野 正	"	63. 4. 1~64. 3. 31	横浜国立大学助教授
"	徳 井 淑 子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	放送大学助教授
"	中 村 茂 夫	"	"	神奈川大学教授
"	松 浦 静 雄	"	63. 4. 1~64. 3. 31	中央大学講師
"	平 井 良 行	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	竹 内 正 顯	"	63. 4. 1~63. 9. 30	桐蔭学園横浜大学教授
"	篠 原 昭	"	"	信州大学教授
"	望 月 登 美 子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	跡見学園短期大学教授
"	西 敏 夫	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京大学助教授
"	角 田 光 雄	"	"	東京家政学院大学教授
"	新 居 玄 武	"	63. 4. 1~64. 3. 31	学習院大学教授
"	香 原 志 勢	"	63. 4. 1~63. 9. 30	立教大学教授
"	御 船 美 智 子	"	"	共立女子大学講師

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63. 4. 1	武藤博道	講師(家政学部)	63. 4. 1~63. 9. 30	日本経済研究センター応用研究部長
"	森武夫	"	"	専修大学教授
"	老川寛	"	"	明治学院大学教授
"	山口絢子	"	"	婦人の園インマニエル副園長
"	今井悦子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	埼玉純真女子短期大学講師
"	松本美鈴	"	63. 4. 1~63. 9. 30	
"	横山巽子	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	岡田陽子	"	"	
"	林隆子	"	63. 4. 1~63. 9. 30	東京都立立川短期大学助教授
"	小川信子	"	"	日本女子大学教授
"	中沢和子	"	"	上越教育大学教授
"	福田理恵	"	63. 4. 1~64. 3. 31	
"	桜井陽子	講師(附属中学校)	"	
"	佐野文	"	"	
"	福嶋依子	"	"	
"	毛塚敬進	"	"	
"	内田悦子	"	"	
"	平野秀治	"	"	東京都立工芸高等学校教諭
"	山越知津子	"	"	
"	瀬尾弘子	"	"	
"	長谷部雅子	"	"	
"	鈴木京子	"	"	
"	鈴木広子	"	"	東京電機大学助手
"	清水悦男	講師(附属高等学校)	"	
"	柳井まどか	"	"	
"	茶園幸子	"	"	
"	島津弘子	"	"	
"	渡部ちあき	"	"	
"	川口美智子	"	"	
"	秋山真紀子	"	"	
"	新田篤子	講師(附属幼稚園)	"	
"	桜林早苗	"	63. 4. 1~63. 7. 31	
"	山田康	学校医(保健管理センター)	63. 4. 1~64. 3. 31	神経研究所外来医長
"	堀口雅子	"	"	虎ノ門病院医師
"	平山宗宏	学校医(附属学校部)	"	日本総合愛育研究所

発令年月日	氏名	異動内容	期間	本務
63. 4. 1	井上直彦	学校歯科医(附属学校部)	63. 4. 1~64. 3. 31	東京大学助教授
"	高田則久	学校薬剤師(附属学校部)	"	
63. 4. 16	木村保彦	講師(附属高等学校)	63. 4. 16~64. 3. 31	

○学科主任

学部	学科等	職名	氏名
文教育学部	哲学科	教授	尾田幸雄
	史学科	"	平野孝
	地理学科	"	内藤博夫
	国文学科	"	堤精二
	外国文学科		
	中国文学・中国語学	"	佐藤保
	英文学・英語学	"	野島秀勝
	独文学・独語学	"	杉本正哉
	仏文学・仏語学	"	石川宏
	教育学科		
理学部	教育学	"	上野造道
	心理学	"	春日喬
	舞踊教育学科		
	舞踊教育学	"	森下はるみ
	音楽教育学	"	大宮誠
	数学科	"	小山敏子
	物理学科	"	柴田文明
	化学科	"	細矢治夫
	生物学科	"	遠山益
	家政学部	児童学科	"
家政学部	食物学科	"	小林彰夫
	被服学科	"	板倉寿郎
	家庭経営学科	"	富田守

◆各種委員会委員◆

1. () は事務担当課
2. *印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定

評議会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河野重男	62. 2. 16~65. 2. 15
文教育学長	浅井清	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部長	清水碩	63. 4. 1~65. 3. 31
家政学部長	中島利誠	62. 4. 2~64. 4. 1
大学院人間文化研究科長	太田次郎	63. 4. 1~66. 3. 31
附図書館属長	青木和夫	62. 4. 2~64. 4. 1
附学校部属長	藤永保	62. 2. 16~65. 2. 15
文教育学部教授	熊谷直男	62. 10. 1~64. 3. 31
文教育学部教授	中川信	62. 10. 1~64. 9. 30
文教育学部教授	酒本雅之	62. 10. 1~64. 9. 30
理学部教授	伊藤厚子	63. 4. 1~64. 9. 30
理学部教授	高村幸男	62. 10. 1~64. 9. 30
理学部教授	瀬野信子	62. 10. 1~64. 9. 30
家政学部教授	本田和子	62. 10. 1~64. 9. 30
家政学部教授	荒川信彦	62. 10. 1~64. 9. 30
家政学部教授	中村隆英	62. 10. 1~64. 9. 30
(常時評議会に出席できる者)		
事務局長	勝谷祐一	
学生部長	大口勇次郎	63. 1. 1~65. 12. 31
一般教育委員会委員長	石川宏	63. 4. 1~64. 3. 31
教務委員会委員長	松田千鶴子	63. 4. 1~64. 3. 31
女性文化研究センター長	堤精二	63. 4. 1~65. 3. 31
生活環境研究センター長	五十嵐脩	62. 4. 1~64. 3. 31

予算委員会(会計課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学長	浅井清	
理学部長	清水碩	
家政学部長	中島利誠	
大学院人間文化研究科長	太田次郎	
文教育学部教授	式正英	62. 4. 1~64. 3. 31
文教育学部教授	中川信	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部教授	高村幸男	62. 4. 1~64. 3. 31
理学部教授	池田宏信	63. 4. 1~65. 3. 31
家政学部教授	荒川信彦	63. 4. 1~65. 3. 31
家政学部教授	中村隆英	62. 4. 1~64. 3. 31
大学院人間文化研究科教授	瀬野信子	63. 4. 1~64. 3. 31
附図書館属長	*青木和夫	
女性文化研究センター長	堤精二	
生活環境研究センター長	五十嵐脩	
事務局長	勝谷祐一	
学生部長	大口勇次郎	
会計課長	東山四孝也	

施設計画委員会(施設課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河野重男	
文教育学長	浅井清	
理学部長	清水碩	
家政学部長	中島利誠	
大学院人間文化研究科長	太田次郎	
文教育学部教授	式正英	62. 10. 1~64. 9. 30
文教育学部教授	宮島喬	62. 10. 1~64. 9. 30
理学部教授	田中翠	63. 4. 1~65. 3. 31
理学部教授	能村堆子	62. 4. 1~64. 3. 31

官 職	氏 名	任 期
家政学部教授	小林 彰 夫	63. 4. 1~65. 3. 31
家政学部教授	板 倉 壽 郎	63. 4. 1~65. 3. 31
大学院人間文化研究科教授	瀬 野 信 子	63. 4. 1~64. 3. 31
附 図 書 館 属 長	青 木 和 夫	
附 学 校 部 属 長	藤 永 保	
女性文化研究センター長	堤 精 二	
生活環境研究センター長	五十嵐 脩	
事務局長	勝 谷 祐 一	
学生部長	大 口 勇 次 郎	
一般教育委員会委員長	湯 沢 雅 彦	

館山施設計画委員会(施設課)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*清 水 碩	
文教育学部助教	片 岡 康 子	63. 4. 1~65. 3. 31
文教育学部教授	森 下 はるみ	62. 10. 1~64. 9. 30
理学部教授	瀬 野 信 子	61. 10. 1~63. 9. 30
家政学部助教	本 間 清 一	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部附属臨海実験所助教	根 本 心 一	
附属高等学校教頭	石 田 光 子	
附属中学校教頭	旭 スズエ	
附属小学校教頭	萩 原 栄	
附属幼稚園教頭	村 石 京	
学生部長	大 口 勇 次 郎	
事務局長	勝 谷 祐 一	
会計課長	東 山 四 孝 也	
施設課長	小 牧 幸 男	

廃水管理委員会(施設課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部教授	浅 海 重 夫	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部助教	林 正 男	63. 4. 1~63. 9. 30
理学部教授	富 永 靖 徳	61. 10. 1~63. 9. 30
理学部教授	永 野 肇	61. 10. 1~63. 9. 30
家政学部教授	小 川 昭 二 郎	61. 10. 1~63. 9. 30
家政学部教授	久 保 田 紀 久 枝	61. 10. 1~63. 9. 30
生活環境研究センター教授	*五十嵐 脩	61. 10. 1~63. 9. 30
附属高等学校教諭	石 井 朋 子	
附属中学校教諭	佐 々 木 和 枝	
会計課長	東 山 四 孝 也	
施設課長	小 牧 幸 夫	

レクリエーション運営委員会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
事務局長	*勝 谷 祐 一	
庶務局長	吉 田 茂	
会計課長	東 山 四 孝 也	
施設課長	小 牧 幸 夫	
学生課長	竹 内 實	
厚生課長	嶋 倉 英 一	
入学主幹	樋 口 武	
文教育学部事務部長	豊 田 広 一	
理学部事務部長	細 井 隆 一	
家政学部事務部長	高 田 滋 郎	
附属図書館事務部長	浦 田 要	
庶務課長補佐	岩 崎 哲 昌	
会計課長補佐	高 橋 傳	
学生課長補佐	薄 葉 章	
大学員人間文化研究科事務室長	宮 腰 泰 憲	
附属学校部事務室長	筑 井 克 己	

入学試験委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
文教育学部長	浅 井 清	
理学部長	清 水 碩	
家政学部長	中 島 利 誠	
文教育学部 教 授	上 野 浩 道	62. 4. 1~64. 3. 31
文教育学部 助 教 授	栗 原 尚 子	63. 4. 1~65. 3. 31
理 学 部 助 教 授	渡 辺 ヒサ子	63. 4. 1~65. 3. 31
理 学 部 教 授	大 橋 祐 二	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 教 授	富 田 守	63. 4. 1~65. 3. 31
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	62. 10. 1~64. 3. 31
学生部長	大 口 勇 次 郎	
事務局長	勝 谷 祐 一	
保健管理 センター所長	奥 野 剛	
電子計算機 室 長	伊 藤 厚 子	

入学者選抜方法研究委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	宮 島 喬	63. 4. 1~65. 3. 31
文教育学部 教 授	須 賀 哲 夫	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 助 教 授	林 正 男	63. 4. 1~65. 3. 31
理 学 部 助 教 授	永 野 肇	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	森 田 明	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	飯 長 喜 一 郎	63. 4. 1~65. 3. 31
学生部長	*大 口 勇 次 郎	
教務委員長	松 田 千 鶴 子	
一般教育委員 委員長	石 川 宏	

教務委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	宮 川 幸 久	63. 4. 1~65. 3. 31
文教育学部 教 授	内 藤 博 夫	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 教 授	富 田 功	63. 4. 1~65. 3. 31
理 学 部 教 授	*松 田 千 鶴 子	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 教 授	本 田 和 子	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 教 授	荒 川 信 彦	63. 4. 1~65. 3. 31
一般教育 委員会委員長	石 川 宏	
学生部長	大 口 勇 次 郎	

一般教育委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	*石 川 宏	62. 4. 1~64. 3. 31
文教育学部 教 授	春 日 喬	63. 4. 1~65. 3. 31
理 学 部 教 授	松 田 千 鶴 子	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 教 授	富 田 功	63. 4. 1~65. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	本 間 清 一	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	森 田 明	63. 4. 1~65. 3. 31
学生部長	大 口 勇 次 郎	

教育実習専門委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
附 学 校 部 属 長	藤 永 保	
文教育学部 助 教 授	*宮 原 修	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 部 教 授	沢 島 侑 子	63. 4. 1~65. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	黒 田 淑 子	63. 4. 1~65. 3. 31
教務委員会教職 課程担当委員	内 藤 博 夫	62. 4. 1~64. 3. 31
附 高 等 学 校 属 長	式 正 英	
附 中 学 校 属 長	新 関 滋 也	
附 小 学 校 属 長	井 内 昇	
附 幼 稚 園 属 長	小 川 剛	

官 職	氏 名	任 期
附属高等学校 教育実習主任	園城寺 信 一	
附属中学校 教育実習主任	高 宮 典 夫	
附属小学校 教育実習主任	上 田 の り 子	
附属幼稚園 教育実習主任	豊 田 一 秀	

学生委員会・学寮委員会・学生会館運営委員会
(学生課・厚生課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	*安 田 次 郎	62.10. 1~63. 9.30
文教育学部 教 授	林 広 子	63. 4. 1~64. 3.31
理 学 部 助 教 授	今 野 美 智 子	63. 4. 1~64. 3.31
理 学 部 教 授	前 田 ミチエ	62.10. 1~63. 9.30
家 政 学 部 講 師	杉 田 孝 夫	63. 4. 1~64. 3.31
家 政 学 部 助 教 授	篠 塚 英 子	62.10. 1~63. 9.30
学 生 部 長	大 口 勇 次 郎	

組織運営検討委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
文 教 育 学 部 部 長	浅 井 清	
理 学 部 長	清 水 碩	
家 政 学 部 長	中 島 利 誠	
大学院人間文化 研 究 科 長	太 田 次 郎	
附 属 図 書 館 長	青 木 和 夫	
附 属 学 校 部 長	藤 永 保	
学 生 部 長	大 口 勇 次 郎	
事 務 局 長	勝 谷 祐 一	

将来構想検討委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	61.10. 1~63. 9.30
文教育学部 助 教 授	土 屋 賢 二	61.10. 1~63. 9.30
理 学 部 教 授	伊 藤 厚 子	61.10. 1~63. 9.30
理 学 部 教 授	大 橋 祐 二	62. 8. 1~63. 9.30
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	62. 4. 2~63. 9.30
家 政 学 部 教 授	富 田 守	61.10. 1~63. 9.30
大学院人間文化 研 究 科 教 授	*藤 永 保	61.10. 1~63. 9.30
生活環境研究 セ ン タ ー 教 授	大 橋 昌 子	61.10. 1~63. 9.30

外国人留学生委員会 (学生課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	*水 谷 信 子	
文教育学部 講 師	平 田 悦 朗	
文教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	62. 4. 1~64. 3.31
理 学 部 助 教 授	芦 原 坦	62. 8. 1~64. 3.31
家 政 学 部 教 授	袖 井 孝 子	62. 4. 1~64. 3.31
大学院人間文化 研 究 科 教 授	荒 川 信 彦	62. 4. 1~64. 3.31
学 生 部 長	大 口 勇 次 郎	

食堂運営委員会 (厚生課)

官 職	氏 名	任 期
学 生 部 長	*大 口 勇 次 郎	
文教育学部 助 教 授	安 田 次 郎	63. 4. 1~64. 3.31
家 政 学 部 教 授	島 田 淳 子	63. 4. 1~64. 3.31
家 政 学 部 助 教 授	久 保 田 紀 久 枝	63. 4. 1~64. 3.31
附属高等学校 教 諭	小 竹 千 香 子	63. 4. 1~64. 3.31
事 務 局 長	勝 谷 祐 一	
会 計 課 長	東 山 四 孝 也	
学 生 課 長	竹 内 實	
厚 生 課 長	嶋 倉 英 一	

官 職	氏 名	任 期
家 政 学 部 長 学 務 係	海老原 葵	
学 生 自 治 会 長 委 員	安 藤 千 穂	
小 石 川 寮 長 運 営 委 員 長	田 村 知 子	
大 山 寮 長 運 営 委 員 長	佐々木 直子	

事務改善研究委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
事 務 局 長	*勝 谷 祐 一	
庶 務 課 長	吉 田 茂	
会 計 課 長	東 山 四 孝 也	
施 設 課 長	小 牧 幸 夫	
学 生 課 長	竹 内 實	
厚 生 課 長	嶋 倉 英 一	
入 学 主 幹	樋 口 武	
庶 務 課 長 補 佐	岩 崎 哲 昌	
会 計 課 長 補 佐	高 橋 傳	
学 生 課 長 補 佐	薄 葉 章	
文 教 育 学 部 長 事 務 係	豊 田 広 一	
理 学 部 長	細 井 隆 一	
家 政 学 部 長	高 田 滋 郎	
附 属 図 書 館 長 事 務 係	浦 田 要	

発明委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 長	浅 井 清	
理 学 部 長	清 水 碩	
家 政 学 部 長	中 島 利 誠	
文 教 育 学 部 教 授	須 賀 哲 夫	61. 10. 1~63. 9. 30
理 学 部 教 授	伊 藤 厚 子	61. 10. 1~63. 9. 30
理 学 部 教 授	太 田 次 郎	61. 10. 1~63. 9. 30
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	61. 10. 1~63. 9. 30
家 政 学 部 教 助	小 川 昭 二 郎	61. 10. 1~63. 9. 30

組替えDNA実験安全委員会委員（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
研 究 者	理 学 部 教 授 清 水 碩	62. 12. 16 } 64. 12. 15
研 究 者	生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授 大 橋 昌 子	
自 然 科 学	理 学 部 教 授 *瀬 野 信 子	
自 然 科 学	家 政 学 部 教 助 本 間 清 一	
人 文 科 学	文 教 育 学 部 教 授 尾 田 幸 雄	
社 会 科 学	家 政 学 部 教 助 袖 井 孝 子	
官 職 指 定	保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長 奥 野 剛	
官 職 指 定	理 学 部 長 細 井 隆 一	
官 職 指 定	家 政 学 部 長 高 田 滋 郎	
安 全 主 任 者	理 学 部 教 授 太 田 次 郎	

防災委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
文 教 育 学 部 長	浅 井 清	
理 学 部 長	清 水 碩	
家 政 学 部 長	中 島 利 誠	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	太 田 次 郎	
附 属 図 書 館 長	青 木 和 夫	
附 属 学 校 部 長	藤 永 保	
学 生 部 長	大 口 勇 次 郎	
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	奥 野 剛	
事 務 局 長	勝 谷 祐 一	
庶 務 課 長	吉 田 茂	
会 計 課 長	東 山 四 孝 也	
施 設 課 長	小 牧 幸 夫	
学 生 課 長	竹 内 實	
厚 生 課 長	嶋 倉 英 一	

共用体育施設等管理運営委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
学生部長	大 口 勇次郎	
附属学校部長	藤 永 保	
文教教育学部 教授	*加 賀 秀 夫	61. 6. 16~63. 6. 15
会計課長	東 山 四孝也	
学生課長	竹 内 實	

購入物品機種選定委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
文教教育学部 教授	*内 藤 博 夫	63. 4. 1~65. 3. 31
文教教育学部 助 教 授	内 藤 俊 史	63. 4. 1~65. 3. 31
理 学 部 教 授	伊 藤 厚 子	63. 4. 1~65. 3. 31
理 学 部 教 授	富 田 功	63. 7. 2~65. 3. 31
家 政 学 部 教 授	小 林 彰 夫	63. 4. 1~65. 3. 31
家 政 学 部 助 教 授	小 川 昭二郎	63. 4. 1~65. 3. 31

公開講座委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文教教育学部 教 授	*三 木 紀 人	63. 1. 20~65. 1. 19
文教教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	63. 1. 20~65. 1. 19
文教教育学部 助 教 授	田 中 真砂子	63. 1. 20~65. 1. 19
理 学 部 教 授	塚 田 和 美	63. 1. 20~65. 1. 19
理 学 部 助 教 授	永 野 肇	63. 1. 20~65. 1. 19
理 学 部 助 教 授	馬 場 昭 次	63. 1. 20~65. 1. 19
家 政 学 部 教 授	本 田 和 子	63. 1. 20~65. 1. 19
家 政 学 部 教 授	湯 沢 雍 彦	63. 1. 20~65. 1. 19
家 政 学 部 助 教 授	小 池 三 枝	63. 1. 20~65. 1. 19
学生部長	大 口 勇次郎	

大学院研究科連絡委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
人 文 科 学 科 研 究 科 長	浅 井 清	
理 学 研 究 科 学 長	清 水 碩	
家 政 学 研 究 科 学 長	中 島 利 誠	
人 文 科 学 科 研 究 科 教 授	尾 田 幸 雄	62. 4. 1~64. 3. 31
人 文 科 学 科 研 究 科 教 授	森 隆 夫	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 研 究 科 教 授	遠 山 益	62. 4. 1~64. 3. 31
理 学 研 究 科 教 授	瀬 野 信 子	62. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 研 究 科 教 授	五十嵐 脩	63. 4. 1~64. 3. 31
家 政 学 研 究 科 教 授	水 野 悌 一	62. 4. 1~64. 3. 31

保健管理センター運営委員会（厚生課）

官 職	氏 名	任 期
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	*奥 野 剛	
文 教 育 学 部 教 授	酒 本 雅 之	61. 10. 1~63. 9. 30
文 教 育 学 部 教 授	石 黒 節 子	61. 10. 1~63. 9. 30
理 学 部 教 授	池 田 宏 信	62. 9. 16~64. 9. 15
理 学 部 助 教 授	今 野 美 智 子	62. 9. 16~64. 9. 15
家 政 学 部 教 授	島 田 淳 子	61. 9. 16~63. 9. 15
家 政 学 部 教 授	水 野 悌 一	61. 9. 16~63. 9. 15
附 属 高 等 学 校 教 諭	古 山 泉	63. 4. 1~65. 3. 31
附 属 小 学 校 教 諭	流 田 直	63. 4. 1~65. 3. 31
文 教 育 学 部 教 授	加 賀 秀 夫	
理 学 部 教 授	太 田 次 郎	
家 政 学 部 教 授	富 田 守	
学生部長	大 口 勇次郎	
事務局長	勝 谷 祐 一	

学芸員課程委員会(文教育学部)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教授	上野 浩道	
文教育学部 教授	小川 剛	
文教育学部 助教授	* 應野 光行	
文教育学部 教授	坂本 満	61.10.1~63.9.30
文教育学部 教授	青木 和夫	61.10.1~63.9.30
文教育学部 教授	内藤 博夫	62.4.2~63.9.30
文教育学部 教授	堤 精二	61.10.1~63.9.30
理 学 部 助教授	山下 貴司	61.10.1~63.9.30
家 政 学 部 教授	板倉 壽郎	61.10.1~63.9.30

理学部附属臨海実験所運営委員会(理学部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	* 清水 碩	
臨海実験 所 部長	根本 心一	
理 学 部 助教授	富永 靖徳	63.4.1~65.3.31
理 学 部 助教授	松本 勲武	63.4.1~65.3.31
理 学 部 助教授	山下 貴司	63.4.1~65.3.31
理 学 部 助教授	渡辺 洋子	63.4.1~65.3.31
文教育学部 助教授	栗原 尚子	62.4.1~64.3.31
文教育学部 講 師	久保 幸夫	63.4.1~65.3.31
家 政 学 部 助教授	本間 清一	63.4.1~65.3.31
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	63.4.1~65.3.31
会計課長	東山 四孝也	
施設課長	小牧 幸夫	

電子計算機室運営委員会(理学部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	* 清水 碩	
電子計算機 室 長	伊藤 厚子	
電子計算機 副室 長	細矢 治夫	

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 教 授	小山 敏子	63.4.1~65.3.31
理 学 部 助教授	富永 靖徳	63.4.1~65.3.31
理 学 部 教 授	大橋 裕二	63.4.1~65.3.31
理 学 部 助教授	馬場 昭次	63.4.1~65.3.31
文教育学部 助教授	内藤 俊史	63.4.1~65.3.31
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	63.4.1~65.3.31
事務局長	勝谷 祐一	
会計課長	東山 四孝也	

理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会(理学部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	* 清水 碩	
R I 実験 室 長	富田 功	
放射線取扱 主任者	所 哲司	
文教育学部 講 師	久保 幸夫	63.4.1~65.3.31
理 学 部 教 授	田中 翠	61.10.1~63.9.30
理 学 部 教 授	太田 次郎	61.10.1~63.9.30
理 学 部 助教授	松本 勲武	61.10.1~63.9.30
生活環境研究 センター教授	五十嵐 脩	61.10.1~63.9.30
家 政 学 部 教 授	荒川 信彦	61.10.1~63.9.30

理学部極低温実験室運営委員会(理学部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	* 清水 碩	
極低温実験室 長	伊藤 厚子	
理 学 部 教 授	田中 翠	63.4.1~65.3.31
理 学 部 助教授	福田 豊	63.4.1~65.3.31
理 学 部 助教授	芦原 坦	63.4.1~65.3.31
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	63.4.1~65.3.31
保安監督者	所 哲司	

附属図書館運営委員会(附属図書館)

官 職	氏 名	任 期
附属図書館長	*青木 和夫	62. 4. 2~64. 4. 1
文教教育学部 教授	白藤 禮幸	61.10. 1~63. 9.30
文教教育学部 助教授	富山 太佳夫	63. 4. 1~65. 3.31
理学部 教授	今野 美智子	63. 4. 1~65. 3.31
理学部 講師	亀井 理	63. 4. 1~65. 3.31
家政学部 助教授	小池 三枝	63. 4. 1~64. 3.31
家政学部 講師	杉田 孝夫	63. 4. 1~65. 3.31
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	63. 4. 1~65. 3.31
女性文化研究 センター講師	館 かおる	63. 4. 1~65. 3.31
一般教育委員 委員長	石川 宏	

女性文化研究センター運営委員会(附属図書館)

官 職	氏 名	任 期
女性文化研究 センター長	*堤 精二	63. 4. 1~65. 3.31
文教教育学部 部長	浅井 清	
理学部 部長	清水 碩	
家政学部 部長	中島 利誠	
人間文化 研究科長	太田 次郎	
附属図書館長	青木 和夫	
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	
女性文化研究 センター講師	館 かおる	
文教教育学部 教授	平野 孝	63. 4. 23~65. 4.22
理学部 教授	前田 侯子	63. 4. 23~65. 4.22
家政学部 教授	本田 和子	63. 4. 23~65. 4.22
事務局 長	勝谷 祐一	

女性文化研究センター研究委員会(附属図書館)

官 職	氏 名	任 期
女性文化研究 センター長	*堤 精二	
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	
女性文化研究 センター講師	館 かおる	
文教教育学部 教授	佐藤 保	62. 1. 1~63.12.31
文教教育学部 教授	水谷 信子	62. 1. 1~63.12.31
理学部 教授	細矢 治夫	62. 1. 1~63.12.31
家政学部 助教授	袖井 孝子	62. 1. 1~63.12.31
文教教育学部 助教授	田中 真砂子	62. 7.15~64. 7.14
家政学部 助教授	篠塚 英子	62. 7.15~64. 7.14
文教教育学部 助教授	富山 太佳夫	63. 4. 1~65. 3.31

生活環境研究センター運営委員会(家政学部)

官 職	氏 名	任 期
生活環境研究 センター長	*五十嵐 脩	
文教教育学部 部長	浅井 清	
理学部 部長	清水 碩	
家政学部 部長	中島 利誠	
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	
生活環境研究 センター助教授	富永 典子	
文教教育学部 教授	浅海 重夫	62. 4. 1~64. 3.31
理学部 教授	能村 堆子	63. 4. 1~65. 3.31
家政学部 教授	小林 彰夫	63. 4. 1~65. 3.31
家政学部 教授	荒川 信彦	63. 4. 1~65. 3.31
事務局 長	勝谷 祐一	

生活環境研究センター研究委員会（家政学部）

官 職	氏 名	任 期
生活環境研究センター長	*五十嵐 脩	
生活環境研究センター教授	大橋 昌子	
生活環境研究センター教授	倉田 忠男	
生活環境研究センター助教授	富永 典子	
文教育学部教授	浅海 重夫	62. 7. 1~64. 6. 30
文教育学部教授	森下 はるみ	62. 7. 1~64. 6. 30
理学部助教授	松本 勲 武	62. 7. 1~64. 6. 30
理学部助教授	清水 碩	62. 7. 1~64. 6. 30
家政学部助教授	無藤 隆	62. 7. 1~64. 6. 30
家政学部教授	島田 淳子	62. 4. 1~64. 3. 31
家政学部教授	板倉 壽郎	62. 7. 1~64. 6. 30
家政学部教授	中村 隆英	62. 4. 1~64. 3. 31

附属学校委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附属学校部長	*藤 永 保	
文教育学部教授	春日 喬	62. 4. 1~64. 3. 31
理学部助教授	田中 翠	63. 4. 1~65. 3. 31
家政学部助教授	島田 淳子	63. 4. 1~65. 3. 31
事務局長	勝谷 祐一	
附属小学校長	井内 昇	
附属中学校長	新関 滋也	
附属高等学校長	式 正英	
附属幼稚園長	小川 剛	
附属小学校教頭	萩原 栄	
附属中学校教頭	旭 スズエ	
附属高等学校教頭	石田 光子	
附属幼稚園教頭	村石 京	

附属学校教育研究委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附属学校長	*藤 永 保	
文教育学部教授	市川 孝	63. 4. 1~65. 3. 31
理学部助教授	澤島 侑子	63. 4. 1~65. 3. 31
家政学部教授	中村 隆英	63. 4. 1~65. 3. 31
教育学部助教授	宮原 修	62. 4. 1~64. 3. 31
児童学部助教授	黒田 淑子	63. 4. 1~65. 3. 31
附属小学校長	井内 昇	
附属中学校長	新関 滋也	
附属高等学校長	式 正英	
附属幼稚園長	小川 剛	
附属小学校教頭	萩原 栄	
附属中学校教頭	旭 スズエ	
附属高等学校教頭	石田 光子	
附属幼稚園教頭	村石 京	
附属小学校教諭	流田 直	62. 4. 1~64. 3. 31
附属小学校教諭	松木 正子	63. 4. 1~65. 3. 31
附属中学校教諭	田中 美也子	63. 4. 1~65. 3. 31
附属中学校教諭	井上 泰次	62. 4. 1~64. 3. 31
附属高等学校教諭	久保 昌	63. 4. 1~65. 3. 31
附属高等学校教諭	古山 泉	63. 4. 1~65. 3. 31
附属幼稚園教諭	田中 三保子	63. 4. 1~65. 3. 31
附属幼稚園教諭	豊田 一秀	63. 4. 1~65. 3. 31

○新任部局長紹介

理学部長

(任期 昭和63年4月1日～昭和65年3月31日)(新任)



氏 名 清 水 碩
生年月日 昭和7年7月15日
出身地 神戸市
専 攻 植物生理学

〔略 歴〕

- 昭和36年3月 東京大学大学院生物系博士課程修了
- 昭和36年4月 日本専売公社中央研究所入社
- 昭和43年4月 お茶の水女子大学理学部講師
- 昭和44年4月 助教授
- 昭和56年4月 教授

〔就任の言葉〕

各分野が細分化され、先端化している自然科学の現状を考えると、その統一体としての理学部の前途に待ち受けている困難さには身のすくむ思いがします。しかし現実には待ってくれませんので、皆様のご協力を得て、総合的な自然科学を模索してゆきたいと思っております。とくにモットーとするものではありませんが、物事は楽観的に受けとめることにしております。趣味はいろいろと変わりますが、続いているのが古塔を巡ることとモーツァルトを聴くことです。

学 事

○卒業式及び学位記授与式について

第36回卒業式及び第24回学位記授与式が3月23日(水)講堂で举行された。

卒業生数及び修了者数は次のとおり。

- ・卒業生数 (428名)
 - 文教育学部 211名
 - 理 学 部 86名
 - 家 政 学 部 131名
- ・修了者数 (115名)
 - 修士課程 人文科学研究科 60名
 - 理 学 研 究 科 17名
 - 家 政 学 研 究 科 37名
 - 博士課程 人間文化研究科 1名

○入学式について

昭和63年度入学式が4月9日(土)講堂で举行された。入学数は次のとおり。

- ・学 部 (520名)
 - 文 教 育 学 部 247名
 - 理 学 部 114名
 - 家 政 学 部 157名
 - 学 士 ・ 編 入 学 2名
- ・大学院 (158名)
 - 修士課程 人文科学研究科 69名
 - 理 学 研 究 科 21名
 - 家 政 学 研 究 科 33名
 - 博士課程 人間文化研究科 35名

諸 報

○昭和63年春の叙勲について

昭和63年4月29日春の生存者叙勲で本学名誉教授井本農一、柳田為正両氏がともに勲二等瑞宝章を受章されました。

○名誉教授の称号授与について

本年3月31日及び62年3月停年により退官された下記の方に本学名誉教授の称号が授与されました。

(授与年月日)	(氏名)	(元官職)
63.4.27	犬養廉	文教育学部教授
"	中山時子	"
"	塚本晃	理学部教授
"	松川哲哉	家政学部教授

○永年勤続者表彰について

昭和62年度退職時の永年勤続者表彰式が昭和63年3月31日本部棟第2会議室に於いて行われ被表彰者に表彰状並びに記念品が授与された。

被表彰者は次のとおり。

学生課 高田 保男
 文教育学部 磯崎 昭男
 理学部 福本 健弥

○停(定)年及び永年勤続退官者全学送別会について
 昭和62年度停(定)年及び永年勤続退官者の全学送別会が3月18日(金)食堂において名誉教授及び職員が多数出席し盛大に行われた。



○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種別
家政学部 助教授	本間清一	フィリピン	日本学術振興会の論博事業による研究指導者渡航	63.3.9～ 63.3.16	出張
理学部 助手	最上善広	西ドイツ	織毛運動とその制御機構の研究	63.3.19～ 65.3.18	研修
文教育学部 助教授	宮原修	イギリス	英国(連合王国)の教育方法等の最近の実情視察のため	63.3.27～ 63.4.12	"

○健康診断

事項	実施期日	対象者	受診者数	実施場所
昭和62年度職員特別定期健康診断(第2次)	昭和63年 3月25日	自動車運転手	3人	保健管理 センター

○研 修

名 称	実施期日	対象者	修了者	主 催
第13回関東地区課長補佐研修	昭和63年 2月18日 ? 2月25日	(1)管区機関の課長補佐又はこれと同等と認められる者 (2)年令50歳未満の者 (3)勤務成績が優秀な者	学生課課長補佐 薄葉 章	人事院関東 事務局

○レクリエーション行事

行 事 名	実 施 日 時	参加者数	実 施 場 所
昭和62年度観劇 題名「隅田川花御所染」	昭和63年3月19日、20日、21日	50人	国立劇場

(1790)

○新任者住所

○職員の仕事等変更

日	誌
(63. 2. 16~63. 4. 15)	

- 2月16日(火) 情報処理センター設立準備委員会
社説明会、事務改善研究委員会(会計
専門部会)、附属高等学校合格者発表
17日(水) 附属図書館運営委員会、生和会理事
会
18日(木) 国立大学協会臨時総会(於学士
会館)、第13回関東地区課長補佐研修
(25日まで、館山市及び大手町)
19日(金) 大学院人間文化研究科会議、情報
処理センター設立準備委員会、第2次
試験第1段階選抜実施結果発表、学
寮委員会、学寮協議会、入試委員会
22日(月) 第14回東京地区国立大学入試担当
課長会議(於東京医科歯科大学)
23日(火) 部局長会議
24日(水) 情報処理センター基本構想学内説明
会、外国人留学生スキー講習会(28
日まで、於志賀高原)
25日(木) 各学部教授会、各研究科委員会、附
属学校委員会、附属小学校「第50回

- 教育実際指導研究会」(26日まで)
26日(金) 評議会、大学院人間文化研究科(博
士課程)第2次入学試験(27日まで)
29日(月) 一般教育委員会、昭和63年度教育実
習オリエンテーション
3月4日(金) 事務改善研究委員会(庶務専門部会)
5日(土) 昭和63年度大学入学者選抜第2次試
験(6日まで)
8日(火) 部局長会議
9日(水) 教務委員会、附属学校委員会
10日(木) 入学者選抜方法研究委員会
11日(金) 将来構想検討委員会、大学院人間文
化研究科会議、保健管理センター運
営委員会
12日(土) 附属幼稚園卒業式・終了式
14日(月) 学寮委員会、学寮協議会、附属学校
教育研究委員会
16日(水) 生活環境研究センター研究委員会
17日(木) 各学部教授会、各研究科委員会、附
属中学校卒業式
18日(金) 評議会、昭和63年度大学入学試験合
格者発表、停(定)年退官者全学送別
会
19日(土) 附属高等学校卒業式、附属小学校帰
国子女教育学級入学検定・同合格発
表
23日(水) 卒業式及び学位記授与式
24日(木) 入学手続き(25日まで)、附属小学
校卒業式・終業式、附属中学校・高
等学校終業式
26日(土) 学寮委員会、学寮協議会
28日(月) 事務改善委員会
31日(木) 定年退職永年勤続者表彰式
4月8日(金) 関東甲信越地区国立学校施設部課長
会議(於文部省)、附属小学校・中
学校・高等学校入学式・始業式
9日(土) 入学式
11日(月) 新入生オリエンテーション(13日ま
で)、附属幼稚園入園式・始業式、
附属高等学校旅行(15日まで)
12日(火) 昭和63年度入学科免除選考会
14日(木) 前学期授業開始、一般教育委員会
15日(金) さわやか行政サービス推進委員会、
女性文化研究センター運営委員会